

「外国人の受入れに伴う環境整備に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 外国人の受入れに伴う環境整備に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 日本で生活する外国人の数
(2) 外国人の受入れに伴う環境整備
- 3 関係省庁 出入国在留管理庁
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国18歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000人
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 5 調査時期 令和元年11月7日～11月17日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,572人 (52.4%)
(2) 調査不能数(率) 1,428人 (47.6%)
－不能内訳－
転居 115 長期不在 84 一時不在 534
住所不明 27 拒否 520 災害 59
その他 89
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	60	30	50.0	男	18～19歳	26	12	46.2	女	18～19歳	34	18	52.9
	20～29歳	309	115	37.2		20～29歳	157	57	36.3		20～29歳	152	58	38.2
	30～39歳	354	168	47.5		30～39歳	181	78	43.1		30～39歳	173	90	52.0
女	40～49歳	540	281	52.0	女	40～49歳	273	132	48.4	女	40～49歳	267	149	55.8
	50～59歳	496	269	54.2		50～59歳	251	133	53.0		50～59歳	245	136	55.5
計	60～69歳	480	291	60.6	計	60～69歳	243	146	60.1	計	60～69歳	237	145	61.2
	70歳以上	761	418	54.9		70歳以上	331	180	54.4		70歳以上	430	238	55.3
計		3,000	1,572	52.4	計		1,462	738	50.5	計		1,538	834	54.2

調査結果の概要

1 日本で生活する外国人の数

(1) 外国人を見かける機会の増減

日本で外国人を見かける機会について、10年くらい前と比べて増えたと思うか聞いたところ、「増えた」と答えた者の割合が87.7%、「変わらない」と答えた者の割合が8.6%、「減った」と答えた者の割合が1.2%となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

(図1、表1)

図1 外国人を見かける機会の増減

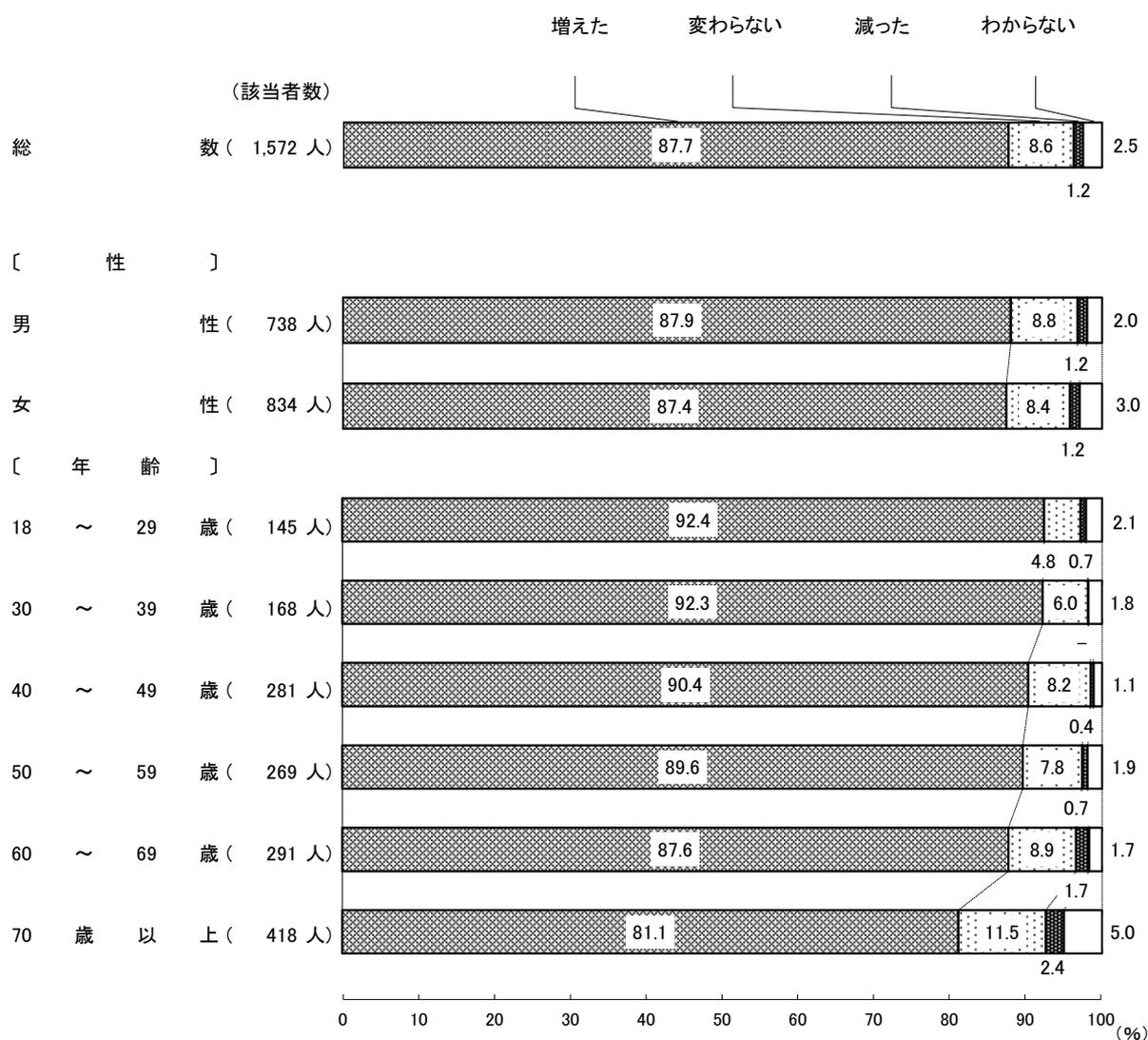


表1 外国人を見かける機会の増減

	該 当 者 数	増 え た	変 わ ら な い	減 つ た	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 数	1,572	87.7	8.6	1.2	2.5
大 都 市	382	90.1	6.3	1.3	2.4
東 京 都 区	76	97.4	1.3	-	1.3
政 令 指 定 都 市	306	88.2	7.5	1.6	2.6
中 都 市	665	88.4	9.0	0.9	1.7
小 都 市	375	86.7	9.1	1.9	2.4
町 〔性〕 村	150	80.7	11.3	0.7	7.3
男 性	738	87.9	8.8	1.2	2.0
女 性	834	87.4	8.4	1.2	3.0
〔年 齢〕					
18 ～ 29 歳	145	92.4	4.8	0.7	2.1
30 ～ 39 歳	168	92.3	6.0	-	1.8
40 ～ 49 歳	281	90.4	8.2	0.4	1.1
50 ～ 59 歳	269	89.6	7.8	0.7	1.9
60 ～ 69 歳	291	87.6	8.9	1.7	1.7
70 歳 以 上	418	81.1	11.5	2.4	5.0

2 外国人の受入に伴う環境整備

(1) 外国人が日本で安心して生活できる環境の整備状況

外国人が日本で安心して生活できる環境はどの程度、整っていると思うか聞いたところ、「整っている」とする者の割合が51.2%（「十分に整っている」4.8%+「ある程度整っている」46.4%）、「整っていない」とする者の割合が38.1%（「あまり整っていない」35.4%+「まったく整っていない」2.7%）となっている。なお、「わからない」と答えた者の割合が10.7%となっている。

年齢別に見ると、「整っている」とする者の割合は18～29歳、30歳代で、「整っていない」とする者の割合は40歳代で、それぞれ高くなっている。（図2、表2）

図2 外国人が日本で安心して生活できる環境の整備状況

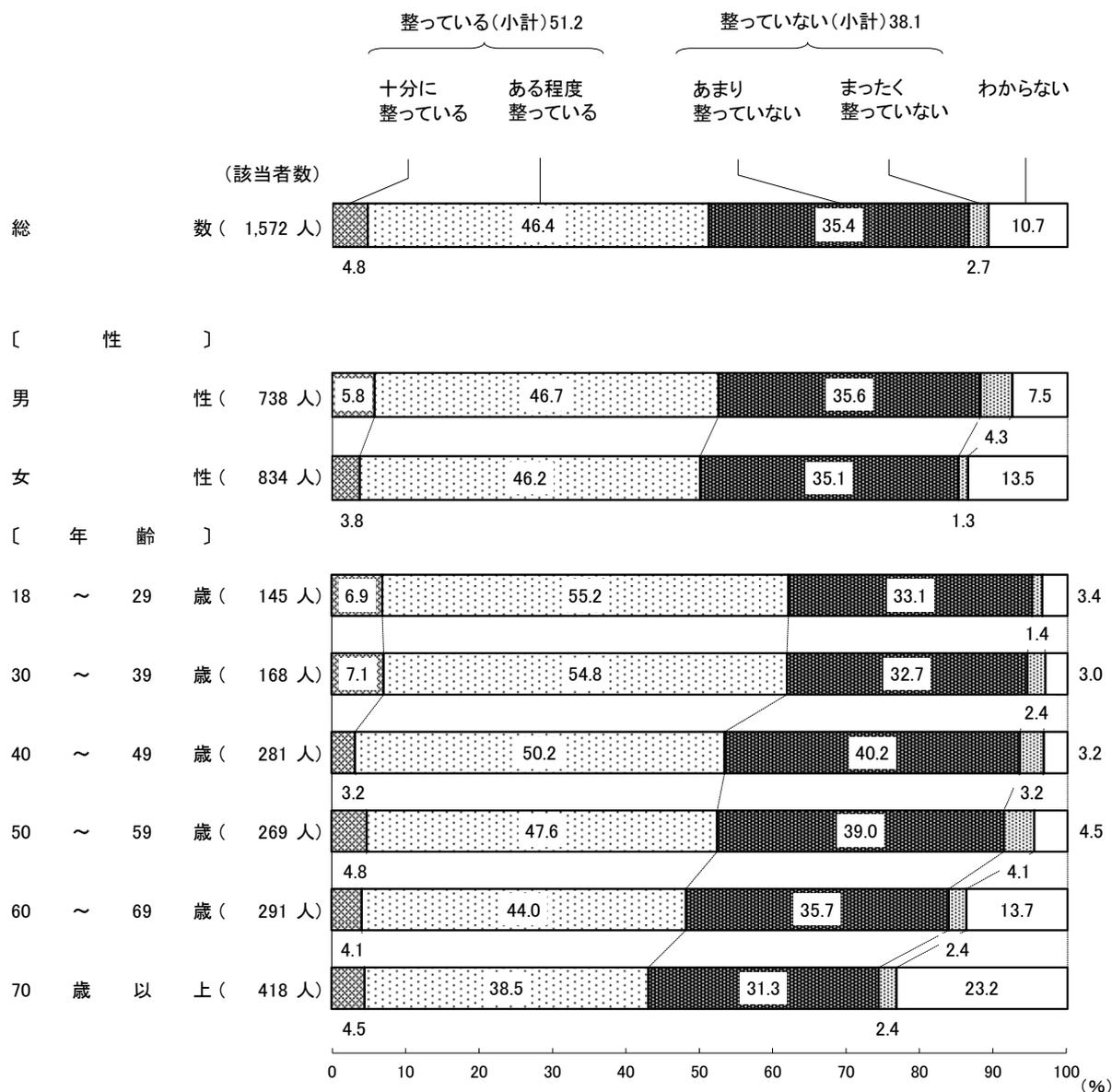


表2 外国人が日本で安心して生活できる環境の整備状況

	該 当 者 数	整 っ て			整 っ て い ない			わ か ら ない
		(小計) る	十 分 に 整 っ て い る	あ る 程 度 整 っ て い る	(小計) い	あ ま り 整 っ て い ない	ま っ た く 整 っ て い ない	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,572	51.2	4.8	46.4	38.1	35.4	2.7	10.7
大 都 市	382	50.5	5.8	44.8	41.4	38.7	2.6	8.1
東 京 都 区	76	46.1	13.2	32.9	47.4	43.4	3.9	6.6
政 令 指 定 都 市	306	51.6	3.9	47.7	39.9	37.6	2.3	8.5
中 都 市	665	53.2	4.1	49.2	37.0	34.7	2.3	9.8
小 都 市	375	49.6	5.3	44.3	37.1	33.1	4.0	13.3
町 村	150	48.0	4.0	44.0	37.3	35.3	2.0	14.7
〔性〕								
男 性	738	52.6	5.8	46.7	40.0	35.6	4.3	7.5
女 性	834	50.0	3.8	46.2	36.5	35.1	1.3	13.5
〔年 齢〕								
18 ～ 29 歳	145	62.1	6.9	55.2	34.5	33.1	1.4	3.4
30 ～ 39 歳	168	61.9	7.1	54.8	35.1	32.7	2.4	3.0
40 ～ 49 歳	281	53.4	3.2	50.2	43.4	40.2	3.2	3.2
50 ～ 59 歳	269	52.4	4.8	47.6	43.1	39.0	4.1	4.5
60 ～ 69 歳	291	48.1	4.1	44.0	38.1	35.7	2.4	13.7
70 歳 以 上	418	43.1	4.5	38.5	33.7	31.3	2.4	23.2

(2) 外国人が日本で安心して生活できる環境を充実させる必要の有無

今後、外国人が日本で安心して生活できる環境を充実させる必要があると思うか聞いたところ、「充実させる必要がある」とする者の割合が74.3%（「充実させる必要がある」31.4%+「どちらかといえば充実させる必要がある」42.9%）、「充実させる必要がない」とする者の割合が16.5%（「どちらかといえば充実させる必要がない」10.9%+「充実させる必要がない」5.6%）となっている。

都市規模別に見ると、「充実させる必要がある」とする者の割合は中都市で高くなっている。性別に見ると、「充実させる必要がある」とする者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「充実させる必要がある」とする者の割合は18～29歳から50歳代で高くなっている。（図3、表3）

図3 外国人が日本で安心して生活できる環境を充実させる必要の有無

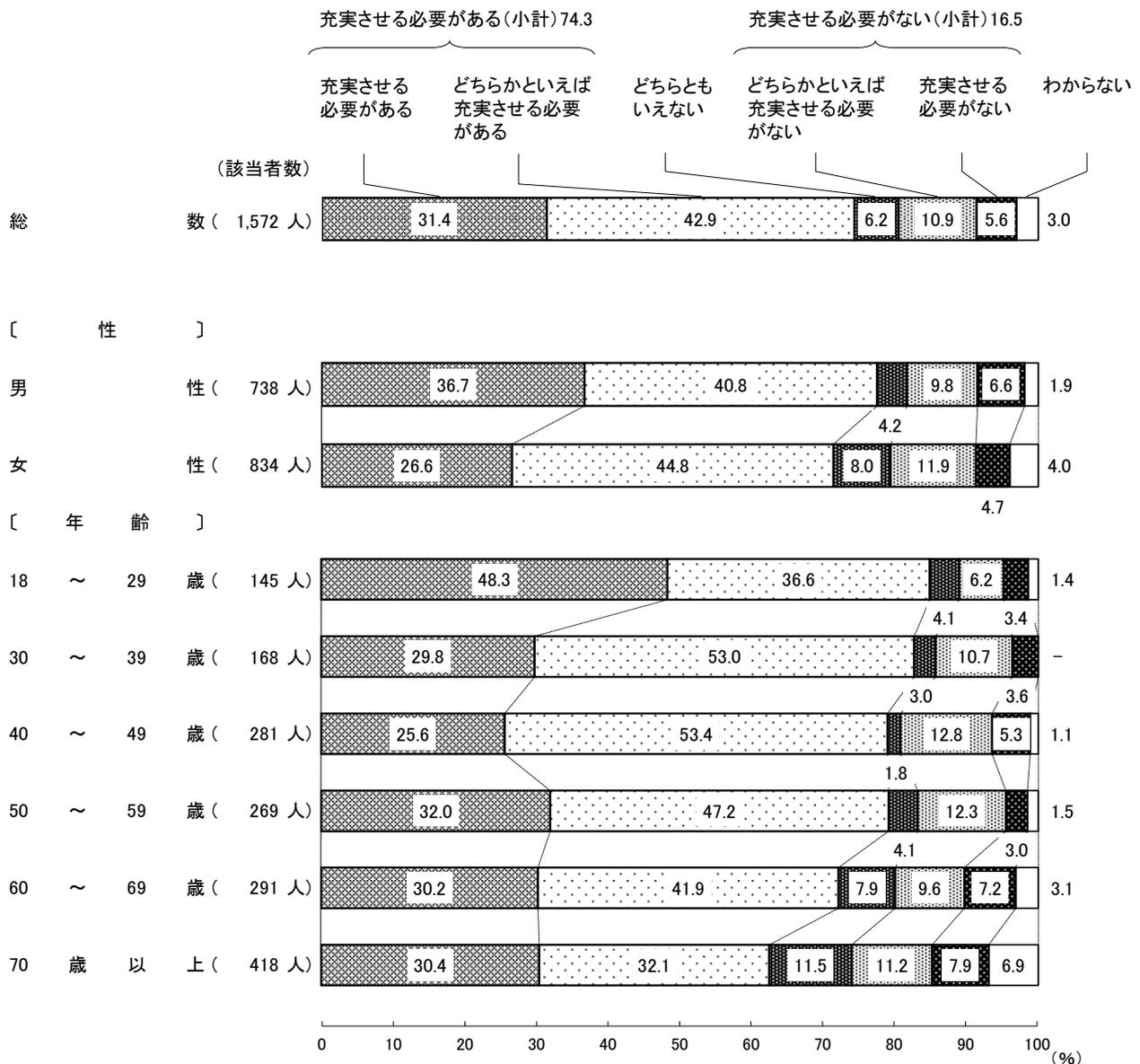


表3 外国人が日本で安心して生活できる環境を充実させる必要の有無

	該 当 者 数	充 実 さ せ る 必 要 が あ る			充 実 さ せ る 必 要 が な い			ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
		(小計)		ど ち ら か と い え ば 充 実 さ せ る 必 要 が あ る		ど ち ら か と い え ば 充 実 さ せ る 必 要 が な い			
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,572	74.3	31.4	42.9	16.5	10.9	5.6	6.2	3.0
〔都市規模〕									
大都市	382	74.9	32.5	42.4	19.1	11.5	7.6	4.2	1.8
東京都	76	71.1	30.3	40.8	26.3	15.8	10.5	2.6	-
政令指定都市	306	75.8	33.0	42.8	17.3	10.5	6.9	4.6	2.3
中都市	665	77.4	30.2	47.2	14.9	10.2	4.7	5.1	2.6
小都市	375	72.0	33.9	38.1	14.7	9.6	5.1	9.1	4.3
町	150	64.7	27.3	37.3	21.3	15.3	6.0	9.3	4.7
〔性別〕									
男性	738	77.5	36.7	40.8	16.4	9.8	6.6	4.2	1.9
女性	834	71.5	26.6	44.8	16.5	11.9	4.7	8.0	4.0
〔年齢〕									
18～29歳	145	84.8	48.3	36.6	9.7	6.2	3.4	4.1	1.4
30～39歳	168	82.7	29.8	53.0	14.3	10.7	3.6	3.0	-
40～49歳	281	79.0	25.6	53.4	18.1	12.8	5.3	1.8	1.1
50～59歳	269	79.2	32.0	47.2	15.2	12.3	3.0	4.1	1.5
60～69歳	291	72.2	30.2	41.9	16.8	9.6	7.2	7.9	3.1
70歳以上	418	62.4	30.4	32.1	19.1	11.2	7.9	11.5	6.9

ア 重点的に充実させる必要がある内容

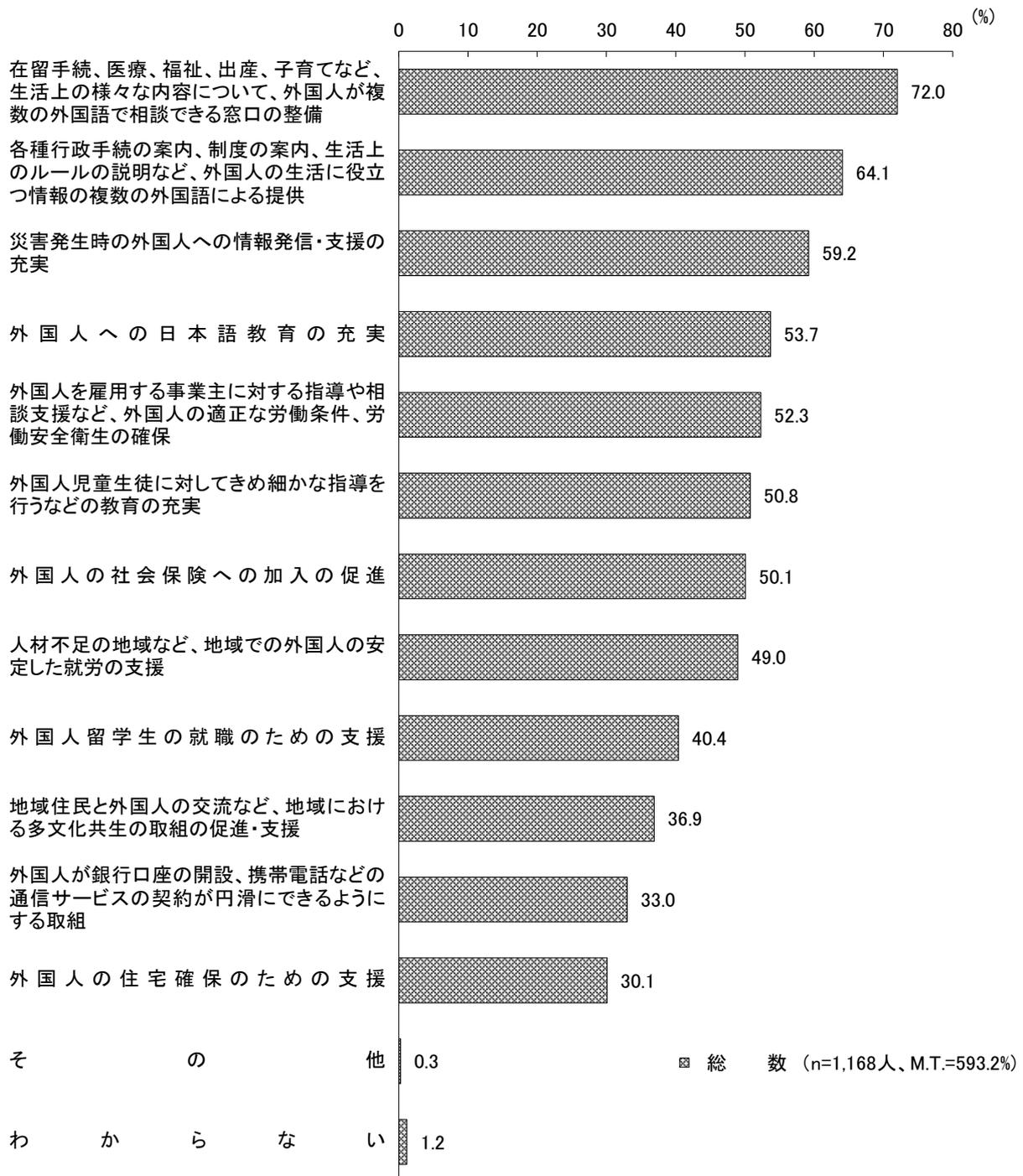
外国人が日本で安心して生活できる環境を「充実させる必要がある」、「どちらかといえば充実させる必要がある」と答えた者（1,168人）に、外国人が日本で安心して生活できる環境について、今後、どのような内容を重点的に充実させる必要があると思うか聞いたところ、「在留手続、医療、福祉、出産、子育てなど、生活上の様々な内容について、外国人が複数の外国語で相談できる窓口の整備」を挙げた者の割合が72.0%と最も高く、以下、「各種行政手続の案内、制度の案内、生活上のルールの説明など、外国人の生活に役立つ情報の複数の外国語による提供」（64.1%）、「災害発生時の外国人への情報発信・支援の充実」（59.2%）、「外国人への日本語教育の充実」（53.7%）、「外国人を雇用する事業主に対する指導や相談支援など、外国人の適正な労働条件、労働安全衛生の確保」（52.3%）、「外国人児童生徒に対してきめ細かな指導を行うなどの教育の充実」（50.8%）、「外国人の社会保険への加入の促進」（50.1%）、「人材不足の地域など、地域での外国人の安定した就労の支援」（49.0%）などの順となっている。（複数回答、上位8項目）

性別に見ると、「災害発生時の外国人への情報発信・支援の充実」を挙げた者の割合は女性で、「外国人への日本語教育の充実」、「人材不足の地域など、地域での外国人の安定した就労の支援」を挙げた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「各種行政手続の案内、制度の案内、生活上のルールの説明など、外国人の生活に役立つ情報の複数の外国語による提供」、「外国人の社会保険への加入の促進」を挙げた者の割合は50歳代で、「外国人への日本語教育の充実」を挙げた者の割合は60歳代で、それぞれ高くなっている。（図4、表4）

図4 重点的に充実させる必要がある内容

〔 外国人が日本で安心して生活できる環境を「充実させる必要がある」、
「どちらかといえば充実させる必要がある」と答えた者に、複数回答 〕



外国人の受入れに伴う環境整備に関する世論調査

令和元年 11 月

調査時期：令和元年 11 月 7 日から令和元年 11 月 17 日
調査対象：全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
有効回収数(率)：1,572 人 (52.4%)

話は変わりますが、次に「外国人全般」に関してお聞きします。

1 日本で生活する外国人の数

(全員の方に)

Q1 [回答票1] あなたは、日本で外国人を見かける機会について、10 年くらい前と比べて増えたと思いますか。それとも減ったと思いますか。この中から 1 つだけお答えください。

- (87.7) (ア) 増えた
- (8.6) (イ) 変わらない
- (1.2) (ウ) 減った
- (2.5) わからない

2 外国人の受入れに伴う環境整備

Q2 [回答票2] あなたは、外国人が日本で安心して生活できる環境はどの程度、整っていると思いますか。この中から 1 つだけお答えください。

- (4.8) (ア) 十分に整っている
- (46.4) (イ) ある程度整っている
- (35.4) (ウ) あまり整っていない
- (2.7) (エ) まったく整っていない
- (10.7) わからない

